

平成28年 東北大学前期日程試験【国語】問題分析

1 今年（H28）の傾向

総評

全体としては標準的な難度であったが、古文が少し難しかったかもしれない。今年度の特徴としては、何を書いたらよいか見当もつかないような論述問題が比較的少なく、部分点が取りやすかった点が挙げられる。したがって合格点を取るためには、とにかく自分が分かったことを分かったなりに表現し、白紙解答を作らないことが大切である。また、基礎的な知識問題も増えているので、そうした所で取りこぼさないように普段から勉強しておこう。

現代文

評論は文章が短く、古めの評論だが内容的には難解ではない。本文のどこを踏まえて解答を作ればよいかも分かりやすく、受験生としては比較的取り組みやすかったろう。小説は読みやすいが、本文全体の趣旨を踏まえて論述する問題がやや答えにくい。「スライダー」という喩えに惑わされず、本文を通して主人公がどのように変化していったかを考えよう。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

キーワードは拾いやすいので、あとは本文を読んでいない人にも分かる日本語で説明するよう心がけよう。

古文

中世の日記からの出題。訪問が途絶えがちになっている恋人に対する主人公の揺れる思いを描いた文章で、ストーリー自体はシンプルだが、和歌を丸ごと解釈させる問題もあり、受験生にとっては難解に感じられたかもしれない。しかし、部分点を狙ってあきらめずに書くという姿勢が重要である。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

傍線部全体の意味が分からなくても、部分点狙いで重要語の辞書的な意味はしっかりと答えよう。

漢文

難度は昨年並みか。基本的な知識を問う問題が多いが、字数制限が厳しくまとめづらいものもある。具体的に書きすぎると制限を超えてしまうので必要最低限の内容を盛り込めば良い。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

基本的な語の読みや句法はしっかりマスターすること。コンパクトに説明する練習も積むとよい。